

大淀川流域 ネットワーク TIMES

vol.27
2021.3.31

きれいな
大淀川を
守ろう！



大淀川環境保全クラブが行く！



CONTENTS

環境保全クラブ
素敵な川の絵 入賞作品
令和2年度 活動の記録 他

写真：大淀川環境保全クラブ2期生のみなさん

大淀川環境保全クラブ

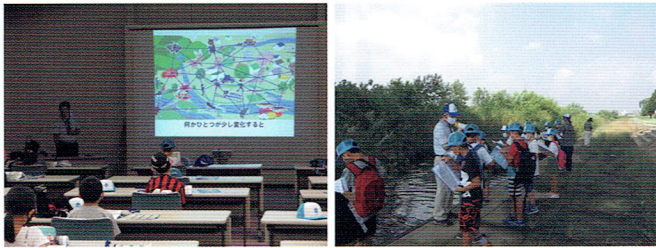


大淀川の保全活動をととして、自然環境や生態系の維持を図るための学習を行っています。身近な些細なことでも環境保全が率先して行える人物、また、将来的には環境保全活動の指導的な人物へと成長していくことを目的としています。

令和2年度は、定員を超える47名の申し込みがあったため、抽選で25名の参加者を選定させていただきました。

第1回

大淀川の生き物保全ワークショップ



天満橋下の小川を観察し、いろいろな生き物が住む環境についてみんなで考えました。

第2回

五感による水辺環境調査



大淀川の水と生き物について学び、水辺を観察して、大淀川を生き物が住みやすい環境に整える方法について、みんなで考えました。

第3回

小魚の生息地の拡大と稚魚の放流



小魚の生息範囲を拡大する方法を考えて、実行し、稚魚を放流しました。

第4回

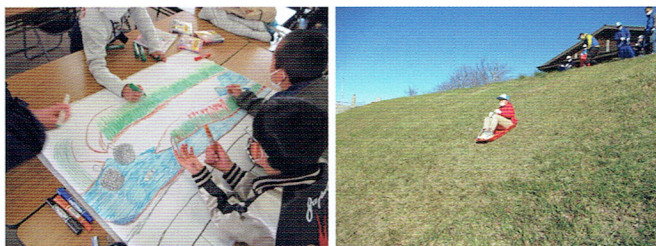
絶滅危惧植物タコノアシの生息地の拡大とカヌーで水辺観察



タコノアシの生育範囲を広げる方法を考えて、砂州で実行し、カヌーで水辺を観察しました。

第5回

成果のまとめ (+芝すべり)



小魚やタコノアシの生息・生育状況を観察してみんなで成果を確認しました。芝すべりも楽しみました。

第6回

成果の発表



実行してきた成果について発表しました。発表後は修了証書を授与されました。当初計画では、全員が集まって発表をする予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、班ごとに時間をずらして集合して発表し、DVD収録しました。

感染防止対策に
取り組んでいます



毎回受付での検温はもちろんのこと、用具はその都度消毒するなど、感染防止に留意しながらプログラムを実施しました。

今年も 素敵なカレンダーができました!

自然が豊かで生物多様性に富み、潤いをもたらす良い川を次世代に受け渡すには、良い川づくりについて広く啓発することが必要と考え、宮崎県の身近な川の素晴らしさ・大切さ・楽しさをテーマにした「素敵な川のカレンダーの絵」を子ども(小学校・中学校・高等学校)を対象に募集しました。応募してくださったみなさん、ありがとうございました。

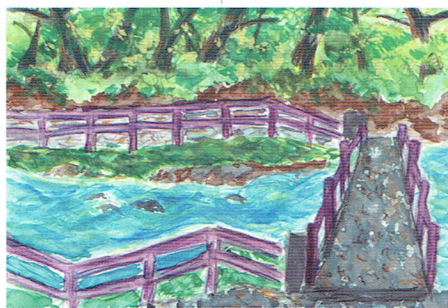
(公財)宮崎県建設技術推進機構
宮崎『ひと・まち・みらい』づくりに関する研究・活動等助成事業



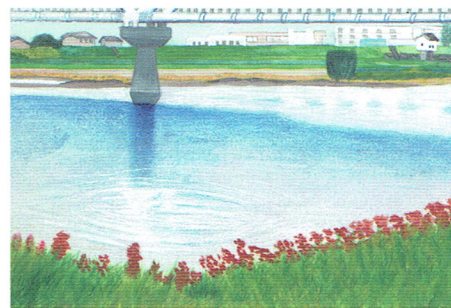
素敵な川のカレンダー 2021年入賞作品



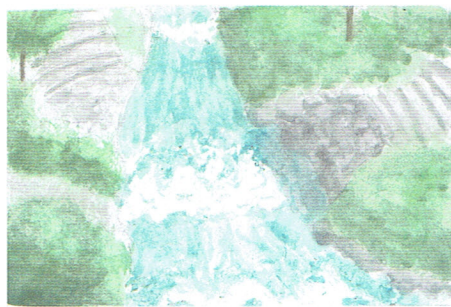
1月 大淀川 宮崎市立宮崎東中学校1年 進藤 空さん



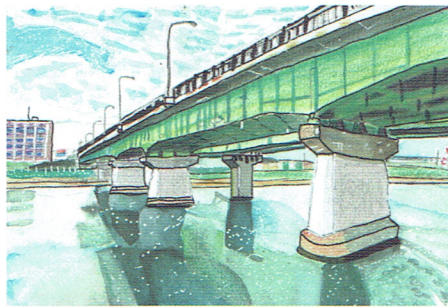
2月 高千穂の川 宮崎市立生目中学校1年 笠木 琴子さん



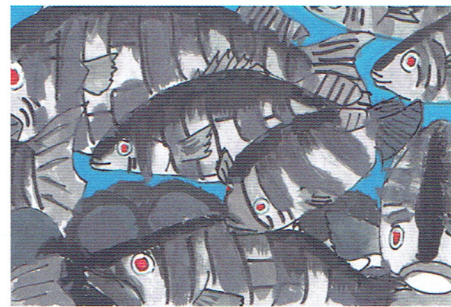
3月 大淀川 宮崎市立宮崎東中学校2年 石川 莉瑚さん



4月 高原の清流ランド 宮崎市立本郷小学校6年 中村 陽和さん



5月 大淀川 宮崎市立宮崎東中学校2年 富高 基貴さん



6月 大淀川のアカメ 宮崎市立恒久小学校3年 錦織 慧嗣さん



7月 田野別府川 宮崎市立宮崎東小学校2年 島田 百花さん



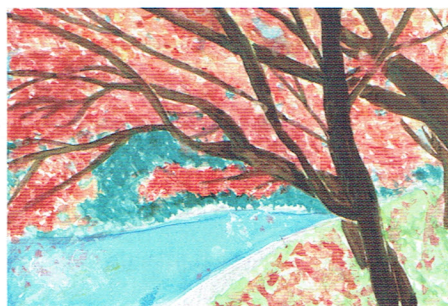
8月 清武川 宮崎市立清武小学校2年 小田 りあなさん



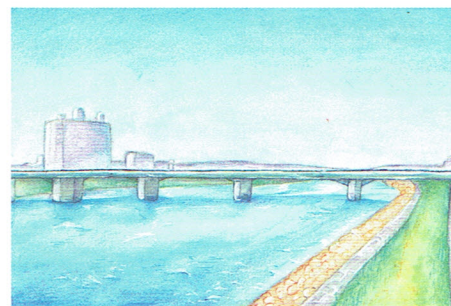
9月 もみじ川 宮崎市立恒久小学校2年 麻生 珠寿さん



10月 大淀川 宮崎市立恒久小学校6年 錦織 慧樹さん



11月 青井岳 宮崎市立穂中学校1年 上池 綾香さん



12月 大淀川 宮崎市立宮崎東中学校2年 眞鍋 碧さん

令和2年12月「宮崎の自然豊かな河川環境フェスティバル」で、作品を展示し表彰式も行われました。活動の記録 P7をご覧ください。 →

コロナ禍でイベント等は思うように開催できませんでしたが、できることをできるかたちで、感染予防対策をしながら活動しました。

身近な水環境の全国一斉水質調査

令和2年5月27日～7月16日

平成16年度から全国水環境マップ実行委員会が主催する「身近な水環境を調べよう!」全国一斉水質調査に参加して、大淀川流域の水質を調査しています。今年度も、「第17回 身近な水環境の全国一斉水質調査」に参加して、大淀川の本川・支川29地点を6班に分かれて、水質を調査しました。

調査地点(河川名)

本川:大淀川

支川:萩原川、年見川、沖水川、横市川、庄内川、高崎川、岩瀬川、本庄川、戸崎川



大淀川クリーンアップ 下流編2020

令和2年7月18日

■実施団体:大淀川クリーンアップ実行委員会

■共 催:国土交通省宮崎河川国道事務所

大淀川の河口から平和台大橋の14区間に分かれ、河川敷と堤防上の計34kmの区間で3密を避けながらゴミを拾いました。7月の増水で流れ着いたのか、ペットボトルや砂が詰まったジュース缶、お弁当のパック等のゴミが、河口に多く見られました。



収集したゴミの量

- 燃やせるゴミ 68袋
- 燃やせないゴミ 25袋

参加団体

国土交通省宮崎河川国道事務所、宮崎県河川課、宮崎土木事務所、高岡土木事務所、宮崎市環境保全課、緑陽会、全建緑陽会、宮崎県建設業協会、宮崎県測量設計業協会、宮崎県浄化槽協会、宮崎県地質調査業協会、宮崎県造園緑地協会、九州電力(株)宮崎支店、九州電力送配電(株)宮崎支社、九電宮崎商友会・青年クラブ、(株)宮崎放送、東京海上日動火災保険(株)宮崎支店、(株)宮崎銀行、(株)宮崎太陽銀行、(株)井上エンジニアリング、宮崎市内ライオンズクラブ、大宮地区青少年育成協議会、宮崎総合学院、フィオーレK O G A看護専門学校、宮崎県立宮崎工業高等学校、ボランティア、NPO法人大淀川流域ネットワーク 計 846名

水辺のテーブル+イベント

宮崎河川国道事務所と協力して、水辺の利活用の促進を図る「ミズベリング・プロジェクト」に取り組んでいます。



ミズベリングとは?

水辺に関心を持ってもらうことを目的として、せせらぎ水路付近と宮崎観光ホテル前の河川敷に、夏季限定でテーブルを設置しています。水辺テーブルを楽しんでもらい、水辺の涼を感じていただくイベントです。

令和2年7月23日

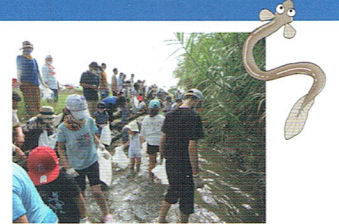
オープニングイベント
シャボン玉を飛ばそう!



■主催:ミズベリング宮崎
宮崎観光ホテル前の河川敷で色々なシャボン玉を楽しみました。

令和2年8月30日

ウナギをつかんでみよう



■共催:宮崎内水面漁業協同組合
天満橋下北詰の大淀川の再生した小川でウナギの稚魚を放流した後、ウナギつかみを体験しました。

環境学習パートナー

令和2年7月27日

宮崎市環境保全課から、環境学習パートナー事業の依頼があり、古城小学校児童クラブで水の不思議体験を実施しました。水を使った実験を通して、水の力・表面張力等・水が持つ不思議さを学んだあと、ペットボトル噴水を作りました。

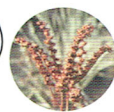


大淀川の絶滅危惧植物 タコノアシの保全活動



春夏

タコノアシとは？



秋冬



九州・四国・本州に分布する多年草で、湿地や河川の水辺に生育する希少な植物です。茎の先が放射線状に分かれて小さい花が咲き、冬に紅葉するとユデダコの足のように見えます。大淀川では天満橋や高松橋付近の砂州に自生していますが、ヨシなどの背の高い植物の影になってしまうと成長が阻まれ、宮崎県の準絶滅危惧種に指定されています。

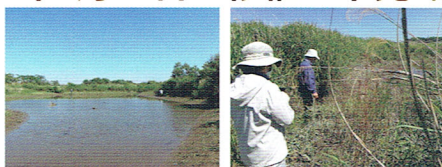
天満橋下の砂州には絶滅危惧植物のタコノアシが生育しています。

当団体では、平成28年度から保全活動に取り組んでいて、夏には白い可憐な花を咲かせ、晩秋には紅葉して水際を赤く彩る風景を見ることができるようになりました。

タコノアシのお引越し

大淀川では、河川整備計画の改修で天満橋上流の砂州が掘削される予定であることがわかり、掘削される場所のタコノアシを引っ越し(移植)しました。

令和2年5月11日 移植の下見・調査



令和2年7月23日 タコノアシ移植



参加者：宮崎総合学院、フィオーレKOGA看護専門学校、宮崎南高校、宮崎大学、国土交通省宮崎河川国道事務所、パシフィックコンサルタンツ(株)、大淀川流域ネットワーク 計160名

この活動は河川財団から助成を受け実施しました。

タコノアシの生育地を広げよう

令和2年9月27日

タコノアシが生育している水辺では、ヤナギやヨシ・オギや外来植物が繁茂していて日当たりが遮蔽されて、タコノアシが消失してしまうおそれがあります。

日当たりの良い環境を維持するため、周辺植物を刈り取る作業をしました。植栽のための板も設置しました。



参加者：宮崎総合学院・宮崎南高校・宮崎西高校・小戸神社氏子青年会・(株)共同技術コンサルタント・宮崎河川国道事務所、大淀川流域ネットワーク 計68名

この活動は公益財団法人イオン環境財団の第29回イオン環境活動助成を受け実施しました。

保全活動(ヤナギの刈り取り)

令和3年2月3日

あいにくの雨天でしたが、宮崎河川国道事務所や小戸神社氏子青年会の皆様にご協力をいただき、大きなヤナギの木を伐採することができました。



保全活動(仮橋架け試行)

令和3年1月30日

タコノアシの保全活動を行っている天満橋下は潮位の変移の影響を受ける場所で、潮が高い時には対岸へ渡るのに苦労しています。そこで、対岸へ渡るための仮橋を架ける試行をしました。



クイズ

これは何の木
でしょうか？

答えはP7→

コアマモの移植

令和2年8月24日

国土交通省が津屋原沼において進めてきた、津波・高潮対策事業も完成間近となりました。堤防施設に関する見学と、昨年度に引き続き、将来的に水路を利用する生物が育つために、地域住民とともに環境保全措置としてコアマモを新しい水路に移植しました。

協力：宮崎内水面漁業協同組合

スタッフ：宮崎河川国道事務所、パシフィックコンサルタンツ(株)、大淀川流域ネットワーク



多自然川づくり

多自然川づくりとは、河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うことです。
 (国土交通省HP「多自然川づくり」の定義より)

わが国の多くの河川において、河川生態系・生物多様性の劣化が課題となっていて、河川環境と調和させて河川改修を実施することは容易ではありません。

このため、宮崎県においては、河川に携わる技術者の多自然川づくりに関する技術力の向上を組織的に継続して図ることを目的として、平成19年度に本団体が提案して宮崎県とともに「宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会」を発足させました。現在も宮崎県との協働事業として実施していて、本団体が事務局を務めています。

うるおいのある川づくりコンペ

令和2年8月3日
 宮崎県自治会館 3階 大会議室

研究会の活動の一つとして、「私たちがめざすうるおいのある川や水辺はどんな姿なのか」について自由に柔軟に探り、共有していこうと、宮崎で活動する住民・団体・企業・行政にひろく呼びかけてコンペを開催しています。さまざまな県内の取り組みを発表することで、うるおいのある川づくりを目指し、知恵や情報を共有しています。



第14回「うるおいのある川づくりコンペ」結果



金賞

団体名：西臼杵支庁
 テーマ：「神代川かわまちづくり」における取組について



銀賞

団体名：日向土木事務所
 テーマ：耳川鳥川地区における自然環境の再生について
 団体名：延岡土木事務所
 テーマ：生態系に配慮した河道掘削について



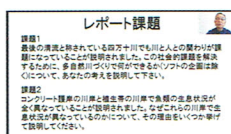
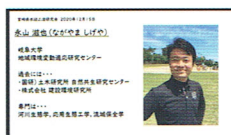
銅賞

団体名：小林土木事務所
 テーマ：辻の堂川の多自然づくりとその後の変化について
 団体名：宮崎河川国道事務所
 テーマ：「都城かわまちづくり」の取り組みについて

宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会

宮崎市と日向市内の2会場で年3回開催しておりますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮して、初めてオンライン講習会を開催しました。多自然川づくりに関する全国トップクラスの研究者に講演していただいています。

初のオンライン開催!



第1回 令和2年8月24日~26日

講師：河川情報センター 福岡センター 所長 川口芳人氏
 テーマ：川づくりにおける設計図書について
 講師：滋賀県立大学 環境科学部 准教授 瀧 健太郎氏
 テーマ：「小さな自然再生」で地域づくり

第2回 令和2年11月4日~6日

講師：九州大学大学院 農学研究院 教授 鬼倉徳雄氏
 テーマ：河川生態系の保全・再生技術の最前線
 講師：国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 所長 金納聡志氏
 テーマ：流域での勤務・在住経験で見た「四万十川」と人との関わり

第3回 令和2年8月24日~26日

講師：大分県土木建築部 河川課 主幹 小田一雅氏
 「大分県における川づくりの取り組み」
 大分県土木建築部 河川課 技師 赤野久志氏
 「令和2年7月豪雨における被害状況について」
 中津土木事務所 主任 井上翔太氏
 「自然との調和を目指して～擬岩工法による河川災害復旧工事～」
 日田土木事務所 主査 小西史恵氏
 「岩盤河床を活かした多自然川作り In 有田川」
 玉来ダム建設事務所 主査 築地祐一郎氏
 「流水型ダムの落とし穴～玉来ダムに足りなかったもの～」
 テーマ：大分県におけるかわづくり事例の紹介
 講師：岐阜大学 地域環境変動適応研究センター 特任助教 永山滋也氏
 テーマ：河川における自然プロセスと生態系保全

ふるさとの水辺 発表会

宮崎県と協働して平成17年から始まった「五感を使ったふるさとの水辺環境調査」。今年度もたくさんの小中学校が調査に参加してくれました。水辺環境調査を広く県民の皆様を知っていただくため、調査に参加した子どもたちがまとめた調査結果パネルを展示しました。



ふるさとの水辺HP

パネル展

令和2年8月1日~7日
イオンモール宮崎

8月31日~9月6日
県庁ロビー

9月9日~16日
宮交シティ



展示されたパネルは「ふるさとの水辺」宮崎県のホームページ内の「令和2年度ふるさとの水辺発表会」ページでご覧いただけます。



令和2年度発表会

水辺安全講習会

令和2年10月22日 高岡町交流プラザ 大淀川・浦之名川河川敷

地域で水害時の救助活動や子ども達の水辺活動等に携わる皆さんを対象として、水中で安全に活動するための水辺安全講習会を開催しました。活動を行う際の基礎知識や技術および流水中の避難時の歩行などについて、講義と実習を通して学習しました。

※国土交通省宮崎河川国道事務所の河川協力団体としての活動のひとつです。



宮崎の自然豊かな河川環境フェスティバル

令和2年12月4日~6日
宮交シティ ガリバー広場

公益財団法人宮崎県建設技術推進機構が実施している「宮崎『ひと・まち・みらい』づくりに関する研究・活動助成事業」に今年度も採択され、一般住民に良い川づくりを啓発することを目的として、親子を対象とした良い川づくりの啓発イベント「宮崎の自然豊かな河川環境フェスティバル」を開催しました。宮交シティ様のご協力で会場を使わせていただきました。ありがとうございました。

パネル展

- 宮崎県内で実施された良い川づくりの優良事例
- 素敵な川のカレンダーの絵



表彰式・啓発イベント

- 12月5日
- カレンダーの絵として選定された方々の表彰式
- 水循環を体験できる「ミニ地球づくり」



カレンダーの絵、表彰式の様子はP3に掲載しております。

P5クイズの答え

ワシントニアパームの伐採材です!

南国宮崎を象徴するワシントニアパーム。国土交通省の植え替え工事によって生じる伐採材の有効活用に取り組んでいます。



大淀川流域ネットワークについて

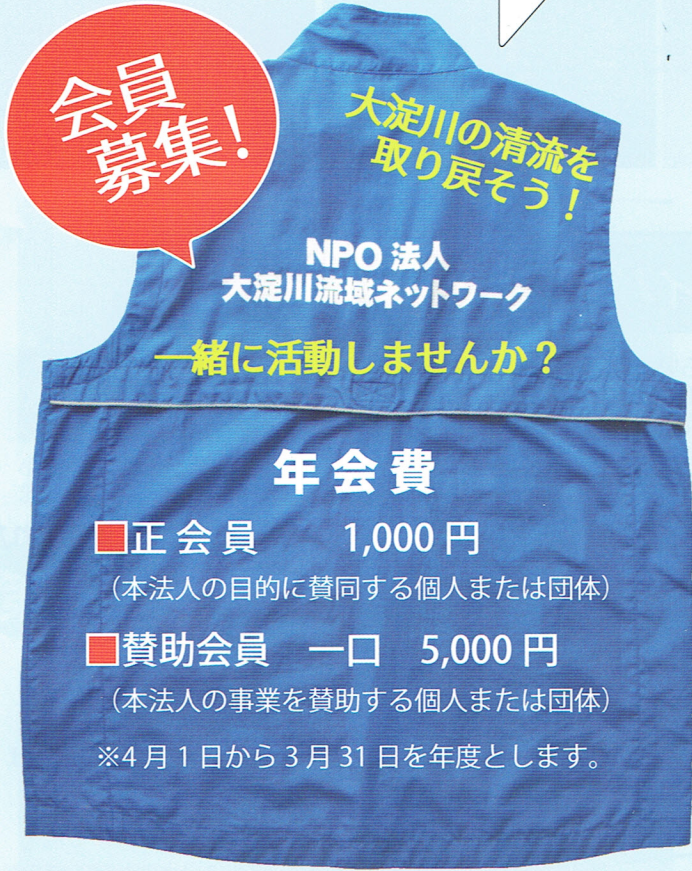
大淀川は宮崎・鹿児島・熊本の3県にまたがる九州でも有数の一級河川です。流域の面積は九州で2番目、本川の長さは4番目です。この流域内に、約60万人の方々が生活して、様々に川を利用しています。しかし水質・水量が悪化し、昔のような人々が遊び親しんだ水量豊かで清らかな清流の面影が失われていました。このような大淀川を昔の姿に戻そうと、流域内の住民や団体が参加して、NPO法人『大淀川流域ネットワーク』が平成16年に発足しました。

水質改善の取り組みは、これまでも行われていました。平成5年から毎年開催されていた大淀川サミットや平成13年から取り組まれた大淀川清流ルネッサンスⅡ協議会などです。平成13年から15年には一時的には水質が改善されましたが、その後は21年まで徐々に悪化していました。その主な汚染源は、生活排水と畜産排水であることが分かっています。

このような状況になった原因の一つは、私たちの日常的な関心が川から離れてしまったことにあります。川は、私たちを含めた生態系の生息・生育の場であるとともに、住民にとって身近に自然を体験できる場であり、地域文化を育む場であり、憩いの場でもあるのです。このような貴重な川の環境を保全し、清流を取り戻すには、大人はもちろん、子どもたちも一緒になって、川で遊び楽しみながら、川の素晴らしさ・大切さ・楽しさに気づき、川への関心を高める必要があります。

NPO法人『大淀川流域ネットワーク』は、大淀川流域で川の環境保全等に取り組んでいる住民や団体などの経験や知識と力を結集するための情報連絡網の整備を行い、情報の共有化を図りながら、住民や団体、企業、行政などが相互に活動を支え合い、多種多様な連携による協働事業を推進しながら、人と川との関わりを再構築し、大淀川流域の河川環境保全や川づくり・地域づくり及び文化の向上を推進することを目的として活動しています。

大淀川の環境保全を目指して、本NPOは個人・団体並びに賛助会員の会費で運営し、国・県・市・各財団等で公募のあった環境に関する事業に数多く取り組んでおります。どうぞ主旨をご理解いただきご入会をお願いします。



賛助会員 (50音順) (2021年3月31日現在)

- 九州工営(株)
- (株)共同技術コンサルタント
- (株)建設環境研究所 九州支社
- NPO法人 五ヶ瀬川流域ネットワーク
- (株)国土開発コンサルタント
- (株)坂下組 小林本店
- (株)坂下組 宮崎本社
- (株)東京建設コンサルタント 九州支社
- 西日本技術開発(株) 流域環境整備部
- (株)宮崎産業開発
- (株)宮崎放送
- 龍南建設(株)

役員 (2021年3月31日現在)

- ・代表理事 杉尾 哲
- ・副代表理事 池辺 美紀 (イベント部会長)
- ・理事 鈴木 祥広 (調査部会長)
- 松本 浩二 (広報部会長)
- 渡邊 俊輔 (教育部会長)
- 宇都 年文 (評価部会長)
- ・監事 阿佐 真一
- 蒲生 芳子
- ・事務局長 松本 浩二
- ・事務局員 早瀬 盟子

お問い合わせ

NPO 法人 大淀川流域ネットワーク

■事務局
宮崎県宮崎市松橋1丁目36
小松排水機場内
TEL: 0985-78-2655/FAX: 0985-48-8233
E-mail: info@oyodo-river.org

■都城事務所
宮崎県北諸県郡三股町大字長田 5268
TEL: 090-3669-1295

寄付のお願い

「大淀川の清流を復活させる」ことを目標に当団体は活動しています! さまざまなイベントや啓発活動を通じて、大淀川を保全する活動を行っております。当団体の活動に賛同される皆様に、ご寄付をお願いしております。

口座番号: 宮崎銀行 宮崎支店 普通 52429
特定非営利法人 大淀川流域 ネットワーク 代表理事 杉尾 哲

最新情報は
WEBでチェック!

<http://www.oyodo-river.org/>

